

テイトに達する書

第一章 一パウエル、神の僕、イイススハリストスの使徒、神の選
びたる者を信に導き、彼等をして敬虔に屬する眞實を知らしめ、二
彼等をして、 謊なき神が世の先より約し、三期に届りて、其言
を以て、我等の救主神の命に循ひて、我に託せられし宣傳に由りて
顯しし永遠の生命の望を得しめん爲に立てられたる者は、四書し
て、 共同の信に由りて眞の子なるテイトに達す。願はくは恩寵と
慈憐と平安とは、 神父及び主イイススハリストス、我等の救主より
爾に賜らんことを。五我爾をクリトに留めしは、爾に缺けたる所
を補ひ、及び各邑に長老を立てること、我が爾に命ぜし如くせん爲
なり、六 即責むべき所なき者、一婦の夫たる者、其子女の信者に
して、放蕩、或は不順の訴なき者を擇びて立つるなり。七 蓋監督
は、神の家宰たるにより、責むべき所なき者、己を執らず、 輕
しく怒らず、酒を好まず、人を毆たず、汚利を貪らず、八 乃 懇
に遠人待ふ者、善を好む者、廉節、公義、聖潔、節制なる者、九 學
びし所の信なる言を堅く執る者たるべし、醇正の教を以て人に勸
め、且抗論する者を折くを得ん爲なり。一〇 蓋順はざる者、空論を爲
す者及び惑はす者、多くあり、割禮者に於て殊に多し、一一 是くの如
き者の口を箝ぐべし、彼等は汚利の爲に宜しからざることを教へて、

全家を覆へす。一二 彼等の中の一なる、彼等に屬する預言者は云へ
り、クリト人は恒に謊る者、惡しき獸、懶惰なる腹なりと。一三 此
の證は眞なり。故に爾嚴しく彼等を責めよ、彼等が信に健全にし
て、一四 イウデヤ人の虚説、及び眞實に背く人人の律令に意を用ゐ
ざらん爲なり。一五 潔き者の爲には、凡の物潔し、汚れたる者及び
不信者の爲には、一も潔き者なし、 即 彼等の知識も良心も汚れた
るなり。一六 彼等は神を識ると言ふ、然れども 行を以て之を諱む、
蓋惡むべき者、順はざる者、凡の善事を絶ちたる者なり。

第二章 一然れども爾は醇正の教に合ふことを言へ、二 即老人
には、謹慎、端莊、廉節にして、信と愛と忍耐とに健全なるべき事を勸
め、三 老婦には、同じく其外儀聖潔に合ひ、讒毀せず、多くの酒を飲
まず、善を以て人に教ふべきことを勸め、四 彼等をして、少き婦に、
夫を愛し、子を愛し、五 自ら制し、貞潔にして、家を守り、善良
にして、其夫に従ふことを教へしむべし、神の言が諂を受けざら
ん爲なり。六 亦少年に、自ら制すべきことを勸めよ。七 爾は一切の事
に於て、己を以て善行の模範と爲し、傳教に於て、誤なきこと、端莊
なること、 偽なきこと、八 言の醇正にして、責むべきなきことを
表せ、敵が自ら愧ぢ、我等に對して何の惡しき事をも言ふを得ざら
ん爲なり。九 僕には、其主に従ひ、一切の事に於て彼等に悦ばれ、嘸

はず、一〇竊まず、乃全き忠信を顯すべきことを勧めよ、彼等が一切の事に於て我等の救主神の教の飾と爲らん爲なり。二蓋神の恩寵、衆人に救を施す者は現れて、二三我等に、不敬虔と世俗の慾とを離れて、自ら制し、義と敬虔とを以て今の世に生を度り、二三望む所の福、及び大なる神、我等の救主イエスハリストスの光榮の現を待つことを教ふ。一四彼は我等の爲に己を與へたり、我等を凡の不法より贖ひて、己の爲に選ばれたる民、善行に熱心なる者を潔めん爲なり。一五爾此等を言ひ、此等を勧め一切の權を以て責めて、人をして爾を輕んぜしむる勿れ。

第三章 一 爾彼等に、政を執る者及び權を有つ者に服し且順ひ、凡の善行に己を備へ、二人を誇らず、争はず、柔和にして、悉くの人に凡の溫柔を表さんことを記念せしめよ。三蓋我等も曩には愚なる者順はざる者、迷へる者、種種の慾と樂との奴隸たる者、怨恨娼妓を以て日を送りし者、惡むべき者、亦互に惡める者たりき。四然れども我等の救主神の恩寵と仁愛との顯れし時、五彼は我等が行ひし所の義の功に由るに非ず、乃己の慈憐に由りて、重生の洗、及び聖神の復新を以て、我等を救へり。六聖神は、即神之をイエスハリストス我等の救主に由りて、豊に我等に注げり、七我等が彼の恩寵を以て義とせられて、望に循ひて、永遠の生命の

嗣と爲らん爲なり。八信なる故此の言、我爾が此等の事を確に證するを望む、神を信する者は務めて善行を行はん爲なり、此は美にして人に益あり。九愚なる辯論と、系圖と、争鬭と、律法の争とを遠ざけよ、蓋此等は益なくして、虚しき事なり。一〇異端者を、一次及び二次警めて後に、擯けよ、二是くの如き者が道に背き、罪を犯して、自ら擬定するを知らばなり。二三我がアルテマ或はテイヒクを爾に遣さん時、爾速に我にニコポリに來れ、蓋我彼處に冬を過ごさんことを定めたり。一三律法家ジナ、及びアポロスを懇に送りて、彼等に「一も乏しきことなからしめよ。一四我等の徒も善行を務めて、需むる所の用に備ふるを學ぶべし、果を結ばざる者と爲らざらん爲なり。一五我と偕に在る者皆爾の安を問ふ。爾は信に在りて我等を愛する者に安問へ。願はくは恩寵は爾等衆と偕に在らんことを、「アミン」。